Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2025-07-04

研究者のための伝える英語プレゼン : プロソディが成功の鍵（スライド資料）

大和, 知史

(Citation)
これから英語で研究発表を行う若手研究者のための学術英語スキルアップセミナー,2018:1-72

(Issue Date)
2019-02-07

(Resource Type)
conference object

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/90005606

これから英語で研究発表を行う若手研究者のための
学術英語スキルアップセミナー

2018年2月7日（木）

於: 瀧川記念学術交流会館　2階大会議室

研究者のための伝える英語プレゼン
―プロソディが成功の鍵―

神戸大学　大学教育推進機構

国際コミュニケーションセンター

大和 知史（やまと かずひと）

yamato@port.kobe-u.ac.jp

確認

- お手元の配布資料をご確認下さい。
  - 大和担当分
    1. 配布資料　1部
    2. 参考資料　1部（野口・幸重（2007）表現集）

acknowledgment

- 本ワークショップの内容は，JSPS科研費26381197と17K04778の助成を受けた研究（共同研究者 磯田貴道＠立命館大）を基にしています。

0. 自己紹介

- 本日はよろしくお願いいたします。

- 自己紹介
  - 名前：大和 知史（やまと かずひと）
  - 所属：神戸大学・大学教育推進機構・国際コミュニケーションセンター
  - 専門：英語教育（音声指導・発音指導）
  - 普段は，共通教育の英語担当，大学院では外国語教育コンテンツ論の授業を担当しています。
  - 昨年もお世話になりました。
  - 相変わらず「わさっ」としております。

0. はじめに の前に

- 自己紹介にあるように，専門分野は，英語教育で，その中でも音声指導・発音指導になります。
- ですので，自分の専門分野の側面からどのようなことができるのか，普段英語を教えている中でどういうことをやっているのか，という形でお話できればと思います。

0. 本ワークショップで伝えたいこと

- 今回のワークショップを通じて，参加者の皆さんに，伝えたいことは次の通りです。
- まず，想定する英語プレゼンの方式は，「発表原稿を事前に準備して，それを読む方式」です。
- その際，「棒読みにならずに」・「相手に内容をきちんと伝える」ために，「どんな風に読むと英語らしく響くか」を理解する。
- また，「普段できる練習方法は何か」を紹介する。

0. 本ワークショップで伝えたいこと

- そんな目的を達成するために，本日は，以下の流れでお話ししたいと思います。
  1. はじめに
  2. まずはやってみよう！
  3. どこに気を配る？
  4. もう一回やってみよう！
  5. 普段からできる練習など
- では，始めていきましょう！

本ワークショップの構成

1.はじめに

2.まずはやってみよう！

3.プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

4.もう一回やってみよう！

5.普段からできる練習は？

1. はじめに

- プレゼン英語の特徴を知る
  - 突然ですが，ペアワークをしましょう（icebreak）。
  - ペアの方に自己紹介しましょう。
  - 状況設定をしておきます。
  - カジュアルな会で，名前と出身，趣味（好きなこと）を軽く紹介する。（逆に言うと研究の話はしない）

1. はじめに

- プレゼン英語の特徴を知る
  - では，もう一回，ペアの方に自己紹介しましょう。
  - 今度の状況は，就職の面接・院試の面接と思って，名前と専門分野，研究内容のさわりを紹介してみてください。
- では，2つの自己紹介でしゃべっていた自身やペアの表現で気づいたことを確認しましょう。

1. はじめに

- プレゼン英語の特徴を知る
  - 書き言葉（論文の英語）と話し言葉の中間
  - 「主語はweやIやyouを使うことが多く，その一方で，動詞の選択においては，例えばgetという話し言葉ではなく，obtainやacquireといった書き言葉を選ぶ傾向にある」（野口・幸重, 2007 p.75）
  - 参考資料①〜③を眺めてもらっても，書き言葉と話し言葉の分布が見えてきます。

1. はじめに

- プレゼンに至るプロセスのお話や表現集などについて
  - 発表の申込から，草稿・スライド等の準備，発表実行，質疑まで（野口・幸重, 2007）
  - アカデミックだけでなくビジネスプレゼンやTEDのようなプレゼンも含めてのプロセス全体（田中, 2014）
  - プレゼンのみならず，アカデミックフィールド全体で英語を使って過ごすにはどうするか（オンライン学習： 東京大学 English Academia 1と2 ←担当授業でも利用しました）
  - その他，書籍等はたくさん出ています。

1. はじめに

- 「プレゼン原稿（スクリプト）を作って読む」から，「～を言う」・「～を発表する」へ
  - 音読（インプット）→朗読（アウトプット）（青谷, 2017）
    - 音読）自分の分からないところが分かる
    - 音読）自分の声に慣れることができる
    - 音読）正しい英語が頭と体に染み込む
    - 朗読）聞き手や状況に合わせた伝え方ができるようになる
    - 朗読）文章の意図や背景を正しく理解して伝えられるようになる
    - 朗読）表現力がつく
  - リハーサルの重要性（アンダーソン, 2016; 田中, 2014 他，ほぼ全て）→どんなスピーチ・プレゼン・演説も練習なしではない

1. はじめに

- 「プレゼン原稿（スクリプト）を作って読む」から，「～を言う」・「～を発表する」へ
  - この段階を経る上で，音読の重要性，朗読の重要性を理解していただきたいと考えています。
  - 本ワークショップでは，原稿を準備して，それを読む上で，どういうところに気を配れば相手に理解されやすい発表ができるか，を考えます。
- それでは，どういうところに，どう気を配るかを考えていきましょう。

本ワークショップの構成

1. はじめに

2. まずはやってみよう！

3. プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

4. もう一回やってみよう！

5. 普段からできる練習は？

2. まずはやってみよう！

- タスク1： 1 min presentationをやってみる
  - お題「自分の研究領域・分野のキーワードを学部生に英語で1分で説明しよう。」
  - 手順：

    1) 簡単な原稿を作る（メモ書き程度）（4分）

    2) ペアに発表を実践する（1分×2）

    3) 振り返りながら文字起しをして少し詳細な原稿を作成する（4分）

2. まずはやってみよう！

- タスク1： 1 min presentationをやってみる
  - お題「自分の研究領域・分野のキーワードを学部生に英語で1分で説明しよう。」

1) 簡単な原稿を作る（メモ書き程度）（4分）

- ワークシートにメモ書きをして，何をどう話すかを考える。
- 研究領域・分野のキーワードを学部生に説明するには，どう言い換えればいいかを考える。
- それを口頭で伝えるにいはどうすればいいかを考える。

2. まずはやってみよう！

- タスク1： 1 min presentationをやってみる
  - お題「自分の研究領域・分野のキーワードを学部生に英語で1分で説明しよう。」

2) ペアで発表を実践する（1min × 2 回）

- ペアを当該の学部生と見立て，発表しましょう。
- 相方はメモを取りながら聞きましょう。
- スマホなどで録音・録画できる人はそれも是非。
- 一方向で，聞き手は発表後にフィードバックを。

2. まずはやってみよう！

- タスク1： 1 min presentationをやってみる
  - お題「自分の研究領域・分野のキーワードを学部生に英語で1分で説明しよう。」

3) 振り返りながら，文字起こしをし，原稿を作成する（4分）

- ペアの人と振り返りをしながら，自分がしゃべったことを文字起こし。
- それを本ワークショップでの原稿とする。

2. まずはやってみよう！

- タスク1： 1 min presentationをやってみる
  - いかがでしたか？
  - 原稿（に近いもの）を読み上げる形式は，普段の研究発表でよくあることかと思います。
  - では，読み上げるにしても，どこをどんな風に気をつければいいのでしょうか？
  - それを考えて，実践してみましょう。

本ワークショップの構成

1. はじめに

2. まずはやってみよう！

3. プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

4. もう一回やってみよう！

5. 普段からできる練習は？

3. プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

- 原稿を音読・朗読する上で，「プロソディ」に気を配ってみましょう。
- なんで？
- 英語の発音には，子音や母音の分節音素と，アクセント・リズム・ストレス・イントネーションといった超分節音素（プロソディ）があります。
- もちろん両方うまくなることが理想ですが，「英語らしさ」を得るには，プロソディについて知ること，練習するとよいと言われています（Derwing and Rossiter, 2003）。

3. プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

- 「プロソディが鍵！」と，ではどうしたらいいものか…。
- その際，「プロソディの3つの原則」を枠組みとして提案しています。
  - この原則を用いることの利点は以下の通りです。
    - プロソディ要素を相互関連した形で読むポイントを確認できる
    - 英語らしさを向上させることができる
    - これからも自学で確認ができる
- ではそれらの概要を確認することにしましょう！

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 提案する「英語プロソディの3つの原則」（配布資料p.2）とは…

1.母音のあるところに拍がくる

2.拍が2つ以上になれば，強弱を

3.強い拍が複数になれば，その内の一つを目立たせる

- 「自分で読む・言う際の行動指針」として活用してください

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 各原則を簡単にみていきましょう
  - 原則①「母音のあるところに拍がくる」
  - 原則②「拍が2つ以上になれば，強弱を」
  - 原則③「強い拍が複数になれば，その内の一つを目立たせる」

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則①「母音のあるところに拍がくる」
  - この原則は，「音節」・「音節構造」のお話
  - 音節：「リズムの1拍やひとつの強勢を受けることのできる，音の最小のまとまり（松坂, 1986, p. 165）」「母音を中心として前後に子音を伴う単位（牧野, 2005, p. 27）」
  - 音節構造
    - V, CV, CVC, VC の組み合わせ
    - CCCVCCCC　strengths

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則①「母音のあるところに拍がくる」
  - 「音節」・「音節構造」について，日本人英語学習者は何が問題？
  - CV構造が基本の日本語に，CCの子音連結を発することの困難さ。Vを挿入してしまう。
  - 挿入されたVが余分な拍となり，聴者の認識を妨げる。
  - ストレングス　strength　ストライク　strike
  - アルミニウム　aluminum　スチール　steel
  - さきほどの1 minutes presentationの中に，専門用語などがありませんか？その音のカタマリはどうなっていますか？

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則①の練習例

1. わざと変に言う（原則①・②）

- 日本語を英語っぽく言う・英語を日本語っぽく言うことで，各言語の音節・強勢・イントネーションの違いを体感する。
- 例）岡崎体育の「冷蔵庫にはってあるやつを英語っぽく言う」（昔ならタモリの4カ国語マージャン?）

2.ハミング（原則①・②）

- 単語や文を鼻歌のようにハミングで読む。余計な母音が入ると拍数が増えてしまうので，拍数に注目する。強弱をつけるには強勢拍を長くする。

「英語プロソディの3つの原則」の概要

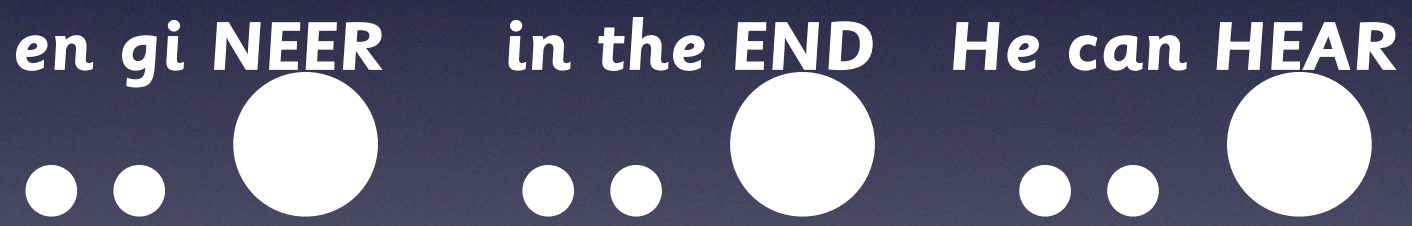
- 各原則を簡単にみていきましょう
  - 原則①「母音のあるところに拍がくる」
  - 原則②「拍が2つ以上になれば，強弱を」
  - 原則③「強い拍が複数になれば，その内の一つを目立たせる」

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則②「拍が2つ以上になれば強弱をつける」
  - この原則は，「語強勢（語アクセント）」から「句アクセント」，「リズム」を経て「文アクセント」のお話
  - 多音節語であれば，それぞれの音節が，第一アクセント，第二アクセント，弱アクセントのいずれかを担うことになる。（*e.g. ba-NA-na, university*）
  - 第一アクセントにおいて，ピッチの動きが大きく，長く，強くなる。（*e.g. com-mu-ni-CA-tion*）
  - 語が複数並ぶと，語と語の間で強弱の組み合わせができる。→「句アクセント」

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則②「拍が2つ以上になれば強弱をつける」
  - 句から文になった場合，文中のある語（の中の音節）は強いアクセントを受け，ある語は受けない。
    → 「文アクセント」



  - 主にアクセントを受ける語→内容語（名詞・動詞・形容詞・副詞）
  - 受けない語→機能語

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則②「拍が2つ以上になれば強弱をつける」
  - 文中に強弱の組み合わせができる→「リズム」
    - one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten,

eleven, twelve

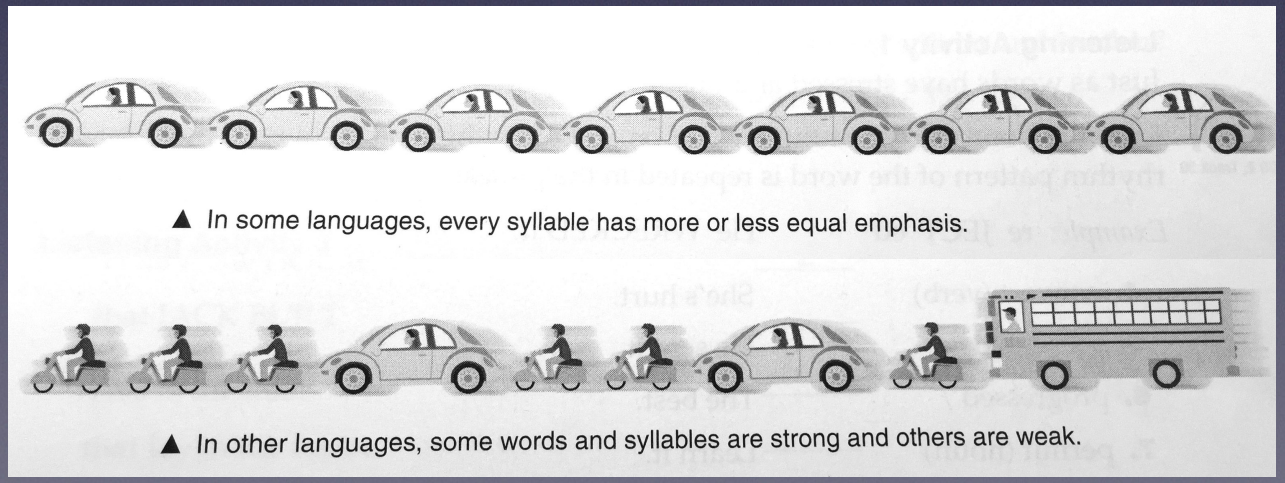
    - Eenie, meenie, miney, moe.

    - examinee → in case of rain → I tried to study very hard.

（斎藤, 2008, p.33; 竹林・清水・斎藤, 2013, p.136-137）

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則②「拍が2つ以上になれば強弱をつける」
  - 「語・句アクセント」・「リズム」・「文アクセント」について，日本人英語学習者は何が問題？
  - 「語アクセント」において，強く発音するようにと教えられていることが多く，高さや長さついては十分に注意を払うことができていない。
  - アクセントに等時性のある英語において，モーラに等時性のある日本語の影響を持ち込んでしまう。（英語に日本語のリズムを持ち込む）



(Grant, 2010, p.85)

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 各原則を簡単にみていきましょう
  - 原則①「母音のあるところに拍がくる」
  - 原則②「拍が2つ以上になれば，強弱を」
  - 原則③「強い拍が複数になれば，その内の一つを目立たせる」

「英語プロソディの3つの原則」の概要

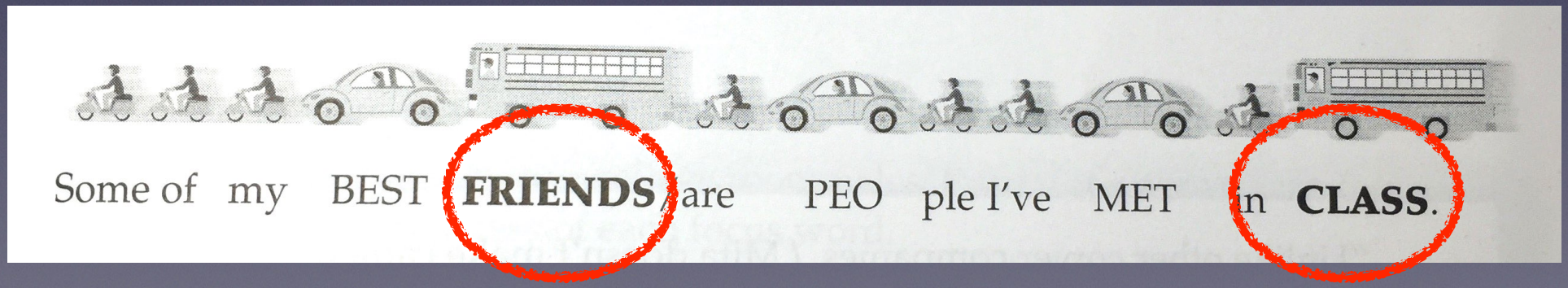
- 原則③「強い拍が複数になれば，その内の一つを目立たせる」
  - この原則は，「thought group」・「音調核（とその配置）」・「トーン」のお話
  - 語・句・文アクセントを受け，リズムを形成した発話に更に情報が加わる。

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則③「強い拍が複数になれば，その内の一つを目立たせる」
  - 文アクセントやリズムにおいて，強アクセントを受ける語・音節があることは明らかになっている。
  - 一連の発話は，短い文や節などをひとかたまりと区切ることができる。この区切りのことを，「thought group」という。

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則③「強い拍が複数になれば，その内の一つを目立たせる」
  - そこに含まれる第一アクセントを含む語群の中でも，最後に現れるものが最も目立つ傾向にある。目立たせる方法は，その音節においてピッチを大きく変動させること（音調核）。



(Grant, 2010, p.103)

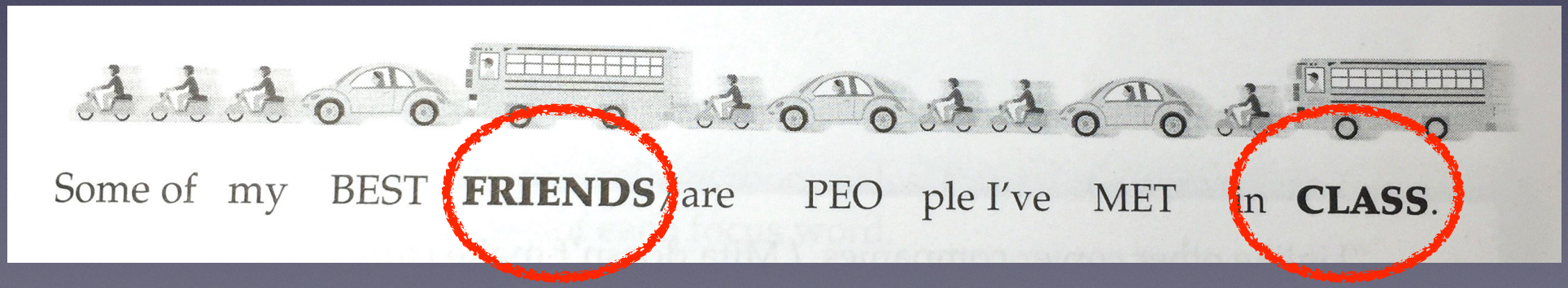
「英語プロソディの3つの原則」の概要

- 原則③「強い拍が複数になれば，その内の一つを目立たせる」

  - ピッチの変動には，上昇と下降，その組み合わせと平坦がある。
  - この領域において，日本人英語学習者は何が問題？
  - 目立ちの配置（核配置）を誤りがちである。多くの場合，thought groupの冒頭に置きがち。これによる情報の焦点の誤解が生じる可能性がある。
  - ピッチの動きについて，句末の急激な変動で意図を伝達しようとする傾向に。

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- ここで「3つの原則」を振り返ってみると…
- 語・句・文と範囲が広範になっても，アクセントの配置など，内部構造は本質的には変わらない。
  - 「英語の『一点豪華主義』的な発音」（町田, 2017）
  - 「日本語はたんたん，英語はメリハ〜リ」（靜，2019）
- ここが日本語とは大きく異なるところ。



(Grant, 2010, p.103)

「英語プロソディの3つの原則」の概要

- ここまで見てきた，「3つの原則」ですが，皆さんが先ほど作った原稿も，この枠組みで考えてみることができます。
- 見返してみましょう。
  - どの単語が言いにくいですか？（原則1・2）
  - どのように区切れますか？（原則2）
  - その区切りの中の，どこが目立ちますか？（原則3）
- 次は，それを考えて，もう一度自分の発表を振り返ってみましょう。

本ワークショップの構成

1. はじめに

2. まずはやってみよう！

3. プロソディが鍵！（どこに気を配る？）

4. もう一回やってみよう！

5. 普段からできる練習は？

4. もう一回やってみよう！

- タスク1： 1 min presentationをもう一回やってみる
  - お題「自分の研究領域・分野のキーワードを学部生に英語で1分で説明しよう。」
  - 1）原稿を音声的に確認する（4分）
    - 一度書いている原稿を，単語のアクセントのチェック，機能語・内容語の確認，区切りのチェック，区切りの中の目立ちを確認する。
    - それを口頭で伝えるにいはどう読めばいいかを考え，ブツブツと自分で練習してみましょう。

4. もう一回やってみよう！

- タスク1： 1 min presentationをもう一回やってみる
  - お題「自分の研究領域・分野のキーワードを学部生に英語で1分で説明しよう。」
  - 2）ペアで発表を実践する（1min × 2 回）
    - ペアの人が当該の学部生であると見立て，発表しましょう。
    - 相方はメモを取りながら聞きましょう。
    - スマホなどで録音・録画できる人はそれも是非。
    - ここは一方向で，発表後，フィードバックをして下さい。

4. もう一回やってみよう！

- タスク1： 1 min presentationをやってみる
  - お題「自分の研究領域・分野のキーワードを学部生に英語で1分で説明しよう。」
  - 3）振り返り（3分）
    - ペアの人と振り返りをしながら，一回目の時と比較をする。
    - 原稿の書き込みをお互いに見せ合いつつ，どう読んでいて良かったか，どう読めば更に良かったか確認しましょう。

本ワークショップの構成

1. はじめに

2. まずはやってみよう！

3. どこに気を配る？

4. もう一回やってみよう！

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

本ワークショップの構成

1. はじめに

2. まずはやってみよう！

3. どこに気を配る？

4. もう一回やってみよう！

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

1.今回の「3つの原則」を使って，スクリプトを作ったら考えて，それをリハーサルする。←今ココ

2.分かりやすく言い換えるために… “Mystery Words” の練習

3.とにかくペアでしゃべるために… “One Minute Chat” の練習

4.図表を描写するために… “写真で1分” の練習

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

1.今回の「3つの原則」を使って，スクリプトを作ったら考えて，それをリハーサルする。

2.分かりやすく言い換えるために… “Mystery Words” の練習 ←これもある

3.とにかくペアでしゃべるために… “One Minute Chat” の練習 ←これもある

4.図表を描写するために… “写真で1分” の練習 ←これもある

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

Mystery Words

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

- **Mystery Words（普段の授業だとこんな感じです）**
  - paraphrasing activity with your partner
  - 制限時間内に説明が相手に伝われば着席
  - avoid 固有名詞
  - avoid gestures
- 自分の成長のバロメータとして。

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

presentation

- 上の英語を自分の言葉で paraphraseすると？

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

presentation

- 英英辞書だとこんな定義で説明されています。
- presentation … is “the act of showing something or of giving something to somebody.” (Oxford Learners’ Dictionary)
- presentation … is “an activity in which someone shows, describes, or explains something to a group of people.” (Merriam Webster Learner’s Dictionary)

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

aluminum

- 上の英語を自分の言葉で*paraphrase*すると？

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

aluminum

- 英英辞書だとこんな定義で説明されています。

- aluminium (BrE)… is “a chemical element. Aluminium is a light, silver-grey metal used for making pans, etc..” (Oxford Learners’ Dictionary)

- aluminum (AmE) … is “a silver metal that is strong and light and that is used for making many products — often used before another noun.”(Merriam Webster Learner’s Dictionary)

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

One Minute Chat

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

- **One Minute Chat**
  - ペアによる対話活動
  - 1分間ペアであるトピックについて話し続ける活動
  - 消しゴムか何かをターンテイキングの印に使って（できるだけたくさんターンを取るように）
  - あとで，何が言えて，どうすればより良かったか，などを振り返る

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

Today's Topic:

If you could change one thing in your past, what would it be?

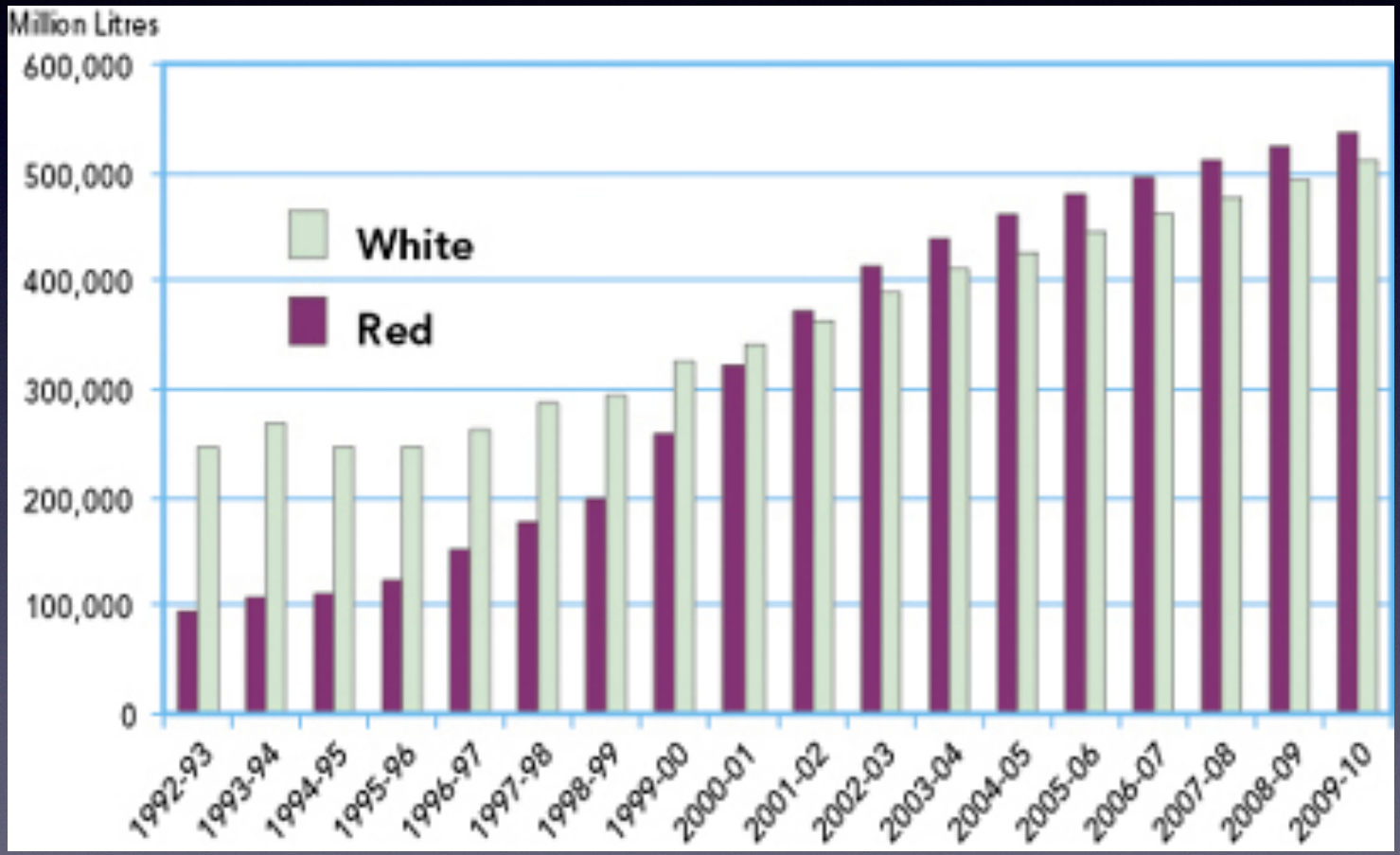
とにかく簡単な話題で，1分がんばろう

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

- 写真で1分（IPPON GRAND PRIX的な）
  - 写真として出されるデータについて
  - 想像力を膨らませつつ1分間描写する活動
  - あとで，何が言えて，どうすればより良かったか，などを振り返る

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

写真で1分



https://goo.gl/images/cfERmm

タイトル・内容は想像で

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

写真で1分

https://goo.gl/images/a7cbsh

タイトル・内容は想像で

5. 普段からこんな練習いかがでしょう？

- 言い換え練習としての“Mystery Words”とターン数を多くとるための“One Minute Chat”を，図表の描写を練習するための“写真で1分”を試してみました。
- 1つ目は，専門用語や概念などを分かりやすく言い換える練習として，さまざまな単語で試すことができます。
- 2つ目は，質疑やポスタープレゼンなど，即興性が求められる場での瞬発力の養成として練習を行うことができます。
- 3つ目は，図表の描写，などはスライドを説明する際に必要となりますので，その表現を定着させるために練習できます。
- 是非，日々の取組みの中に取り入れてもらえればと思います。

まとめ

- 今回のワークショップを通じて，参加者の皆さんに，英語プレゼンについて，
  - 最初の一歩として原稿を準備して，
  - まずはそれを分かるように読んで，内容をきちんと伝えるにはどうするとよいか，
  - 普段の練習はどんなことが良いか，
- を分かってもらうことを目的としていました。

まとめ

- 終わった現在，皆さんが，プレゼンテーションの準備をしている際に，
  - 準備をした原稿を見て，
  - どのように読むと，内容が聞き手にきちんと伝わるのか，
  - どのような練習をすればよいのか，
  - その他にどんな練習ができるか，
- を分かってもらっていて，実際，そのようにしてもらえるとありがたいです。
- 更に，その結果などをフィードバックして下さると，こちらとしては更にありがたいです。
- ご意見・疑問等ございましたら，ご遠慮なくお尋ね下さいませ。